

## 令和6年度生活支援相談活動管理職・担当者全国連絡会議 ～地域支え合いセンターの役割と機能～ 開催要綱

### 1. 趣 旨

近年多発する自然災害を受け、被災地に限らず生活支援相談活動への関心が高まっており、東日本大震災以降、地域支え合いセンターにおける生活支援相談活動の実践・経験が注目されています。能登半島地震の被災地である石川県においてもすべての市町に地域支え合いセンターが設置されるなど、その必要性は確実に高まっています。

また、被災者の生活再建に向けた継続的な支援として、「災害ケースマネジメント」（被災者一人ひとりに寄り添い、生活全体における状況を把握し、それぞれの課題に応じた情報提供や人的支援など個別の支援を組み合わせる計画を実施する取り組み）が進められており、災害ケースマネジメントの視点を踏まえた生活支援相談活動の展開が今後ますます期待されています。

そこで今回の会議は、災害ケースマネジメントの実践における地域支え合いセンターの役割と機能に焦点を当て、これまでの生活支援相談活動の実践や経験をあらためて振り返り、社会福祉協議会や地域支え合いセンター、生活支援相談員の支援のあり方等について考察することを目的として開催します。

### 2. 主 催

全国社会福祉協議会

### 3. テ ー マ

地域支え合いセンターの役割と機能を考える～災害ケースマネジメントの視点を踏まえた生活支援相談活動～

### 4. 日 時

令和7年2月13日（木）13時～17時

### 5. 実施方法

ハイブリッド開催（情報交換会は会場参加のみ）

【会場】全国社会福祉協議会 5階会議室

【オンライン】Zoom（URLは参加申込者へ後日送付します）

### 6. 参加対象

- ① 都道府県・市区町村社会福祉協議会の役職員、生活支援相談員
- ② 行政職員（福祉部局、NPO部局、危機管理部局等）
- ③ 共同募金会、災害支援NPO等で災害ケースマネジメントに携わる役職員

### 7. 定 員

会場参加 100名（先着順）

※オンライン参加 100名

### 8. 参 加 費

無 料



## 9. プログラム

時 間	主な内容
12:30	受付開始
13:00~13:10 (10分)	開会挨拶 オリエンテーション
13:10~13:45 (35分)	基調報告「災害ケースマネジメントと支え合いセンター」 【登壇者】全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋 良太
13:45~14:30 (45分)	能登半島地震における石川県域での支え合いセンターの取り組み 【登壇者】石川県社会福祉協議会 石川県地域支え合いセンター 副センター長 村田 明日香 様 ※質疑応答 5分含む
14:30~14:40 (10分)	休憩
14:40~15:50 (70分)	セッション「支え合いセンター設置の意義・重要性について」 ・近年、支え合いセンターの設置を行った市町村社協に、立ち上げ時の課題や立ち上げての効果などをお話いただきます 【登壇者】 球磨村社会福祉協議会 福祉活動専門員 槻木 正剛 様 秋田市社会福祉協議会 地域福祉課 地域支え合いセンター リーダー 戸島 健人 様 金沢市社会福祉協議会 地域福祉課課長 北脇 宜和 様 【進行】 全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 水谷 詩帆
15:50~16:00 (10分)	休憩
16:00~17:10 (70分)	グループ討議「支え合いセンターの設置に向けた課題」 ・午前中、午後の報告を受けて、それぞれの立場で、現状の体制だとどのような課題が生じるか、どのような準備が必要であると感じたか、話し合ってください ※発表 10分含む
17:10	閉会
17:15~18:00	情報交換会（任意参加） ※ご登壇の皆様にも可能な範囲でご参加いただきますので、名刺交換の場としてご活用ください

## 10. 申込方法

下記申込フォームからお申込みください。

〔申込フォーム〕 <https://forms.gle/pkn91AKPKBN9jxzg6>

## 11. 申込締切

令和7年1月31日（金）（ただし、定員になり次第、締め切ります）

### 【お問い合わせ先】

全国社会福祉協議会 地域福祉部（担当：駒井、福與）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL：03-3581-4655 E-mail：[z-chiiki@shakyo.or.jp](mailto:z-chiiki@shakyo.or.jp)